

# 令和5年度 大和こども園園評価

A：たいへんよい B：よい C：一部検討を要する D：改善を要する

項目	内 容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針を理解し、教育・保育課程・全体構想など子どもの主体性を生かした教育・保育を行っているか		○			・教育・保育課程・全体構想を基に子どもがどのように主体的に遊ぶ楽しさや面白さを感じているのかと子どもの声や行動などから感じとれるよう意識した。しかし、職員一人一人の保育観の違いから主体性を生かす保育への共通理解に難しさがある。今、子どもが夢中になっている事や子どもの姿などを職員同士で声を掛け合い確認していく。
	(2) 今年度の目指す子ども像（夢中になって遊びこめる子～遊びの中に学びあり～）に向かって教育・保育をすすめているか		○			・子どもへの声かけや名前の呼び捨てなどに気をつけ丁寧な対応を心がけた。今後更に子どもの人権意識を高めるための研修などを行い、子どもへの関わりについて全職員で周知し対応していく。
	(3) 子どもの人権や一人一人の個人差を尊重し、丁寧に適切な教育・保育（名前の呼び方、言葉がけ等）を行っているか		○			
教育・保育の計画	(1) 計画を立てる際に、教育・保育課程を基に、職員一人一人が子どもの姿や学年の育ち等を捉え、職員間で話し合っているか		○			・週案やカリキュラムなどを通じて子どもの興味・関心に応じた活動が展開されるよう職員同士で話し合い計画を作成している。今後も子どもの発達や姿を5領域や10の姿などと照し合わせ、複数の職員で語り合う中で多角的に捉え共有していく。
	(2) 日々の子どもの姿や育ちを踏まえ、継続してやりたい遊びや保育者の意図した遊びを考え、週案や月案に生かしているか		○			
	(3) 計画と実践を振り返り、次の計画に見通しをもち、教育・保育に反映しているか		○			
	(4) ドキュメンテーションや通信などを活用しながら、こどもの姿から10の姿に置き換え、夢中になって遊び込む子どもの育ちや学びを職員間で共有しているか			○		
子どもの発達援助	(1) 遊びや生活のなかで、子ども一人一人の思いやペースを尊重したかわりを心がけているか？			○		・子ども一人一人の生活リズムや思い・その子のペースを尊重した関わりを心がけた。子どもが自分で遊びを選んで満足がいくまで遊べるような落ち着いた空間・時間などの環境構成を整えるよう努めた。しかし、一人一人に応じた手立てや配慮等が十分ではなかった為、子どもの心の動きなどを読み取りながら職員同士の連携を図る。
	(2) 子ども自ら遊びを選び、じっくりと満足して遊べる環境（空間・時間）構成を行っているか			○		
	(3) 子どもの興味・関心や心の動きにまなざしを向け、耳を傾け援助しているか		○			・支援や加配を要する子について情報共有をし、「自分の担当する子」「自分のクラスの子」と捉えず、園全体でどの子にも丁寧に関わり、心地よく安心して園生活を過ごせるよう努める。  ・子どものやりたい気持ちを大切にしながら、安全確保や環境を配慮し、教育・保育を進めた。その中で、“子どもに怪我をさせてしまったら…”と職員の思いが先走る事があった。子どもの発達状況や育ちに応じた対応や安全に過ごせる環境について園内研修などを活用し、考えていく。
	(4) 子どもが繰り返し遊ぶことや、試したり工夫したりすることが出来るようにしているか。また、子どもの姿をふまえて環境の再構成を行っているか。		○			
	(5) 様々な家庭や事情の子どもが「わたしはここで愛されている（大事にされている）」という気持ちになれるよう、子どもの気持ちを丁寧に理解し寄り添う対応や雰囲気心がけているか		○			
	(6) 支援を要する子どもに対して、「困った子」「大変な子」として捉えるのではなく、その子を肯定的に受け止め、その子の「よさ」を見出し、その子らしさを大事にしたかわりを行っているか			○		
	(7) 保育者の思いで先走ることなく、子どもの力を信じて任せるところはらせてみる姿勢で子どもを見守っているか		○			

項目	内 容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
保護者に対する支援	(1) 子どもの発達や教育保育などについて、連絡帳や口頭での対応、懇談会などの話し合いの場を通して、保護者と共通の理解を得ることができたか		○			<p>・昨年度の園評価の課題を踏まえ、保護者の方に子どもの様子や姿を沢山伝えられるよう玄関先での2階クラスの写真掲示を行った。登降園の際、今日あった出来事を写真を見ながらお家の方と話している姿が多くみられ、今後も続けていきたい。</p> <p>・保護者からの苦情や要望については、迅速に話し合う機会を設けるよう努めた。意見や思いを受け止めそれをきっかけに職員間で話し合い周知しながら対応した。しかし保護者アンケートより相談の対応が保護者にとって納得いくものでないこともあったようで、今後も必要に応じて個人懇談や話し合う機会を設け迅速に対応していくよう努める。</p> <p>また、行事や保育の意図が保護者の方に伝わっていない部分もあったため、クラス通信等で分かりやすくお伝えし、理解と共感を得ることができるよう努めていく。</p>
	(2) 保護者が子育ての悩みや心配事を安心して話せるような関係作りを心がけているか		○			
	(3) 保護者からの相談や意見等について誠実に対応し、園生活において子どもが安心・安全に過ごせるような環境を整え、保育の充実に生かすことができたか		○			
	(4) 園は、虐待に対応できる園内の体制（医療機関、児童相談所などの専門機関との連携）の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(5) 園で起ったけがについてその日のうちに保護者に説明しているか		○			
教育保育を支える組織的基礎	(1) 施設長は、リーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容と充実が図れるよう努めているか		○			<p>・職員会議内だけでなく、施設長から職員全員に資質向上へと働きかけた事で、特に人権意識が高まった。</p> <p>・職種や年齢、勤務時間など様々な働き方に関わらず、職員が子どものために率先して業務に携わっている。今後更に職員間で子どもの情報共有を行いながら「みんなで一人一人の子どもを支えていこう」と共通の意識をもつ。</p> <p>・提出物の期限や約束を守れず、組織全体に響いてしまう事があった。お互いに声を掛け合ったり、ホワイトボード等を用いたりしながら提出期限を意識し、職員同士が共有し合い約束を守るよう心がける。</p> <p>・今年度、重大事故につながらないよう監視カメラの増設や園バスに置き去り防止ブザーを設置し施設内外の安全対策を講じた。また、園で起こったヒヤリハットの事案については、全職員で共有し、再発防止に努めた。</p> <p>・定期的な避難訓練の他に、今年度は保護者への引き渡し訓練を実施し、確実に子どもを保護者に引き渡すことができるよう保護者にも協力して頂いた。今後更に、様々な時間帯で災害・不審者防止などを想定し避難訓練や安全点検を定期的に行い、職員全員が緊急時の対応を振り返り考え子どもの安全へとつなげていく。</p>
	(2) 職種（保育者・調理員・看護師・通訳・バス運転手等）、年齢や能力、勤務時間等の多様な働き方に関わらず、自身が園運営の一人として子どものために、率先して業務に携わっているか		○			
	(3) 職員間で子どもの事・今日の保育・明日の保育・保育の悩み等について気軽に語りあったり、相談したりすることができたか		○			
	(4) 職員一人一人の持ち味や良い所に目を向け認め合いカバーし合える関係作りを心がけているか		○			
	(5) 保護者や子どもの個人情報漏洩や滅却がないよう適切に管理しているか		○			
	(6) ヒヤリハット報告書や事故報告書を提出し、職員間で共有しているか		○			
	(7) 健康管理（体調不良、アレルギー疾患等）について看護師と子どもの情報を共有し、適切な対応がとれるようにしているか		○			
	(8) 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止等子どもの安全確保のため、職員としての緊急時の行動を身に付けるよう努めているか		○			
	(9) 書類の提出期限や会議などの開始時刻等、順守することはできたか		○			
	(10) 評価結果に基づき自分自身が組織として取り組むべき課題に向き合っているか		○			